

令和2年度事業報告

【 相談支援事業 】

1 体制

(1) 対象者

障害・病気がある方及びその家族

(2) 開所日及び開所時間

月曜日～土曜日（祝祭日を除く） 9時30分～17時30分

但し、12月29日～1月3日の年末年始は休業

(3) 相談形態

電話、面談、訪問・同行、メール等

2 事業概要

(1) 一般相談支援（秦野市からの委託事業）

ア 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等）に関する事

イ 事業の促進に係る企画、立案に関する事

ウ 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に係る助言・指導）に関する事

エ 社会生活力を高めるための支援に関する事

オ 権利擁護のために必要な援助及び成年後見制度の推進に関する事

カ 専門機関の紹介に関する事

キ その他必要な支援に関する事

(2) 基幹相談支援センター業務（秦野市からの委託事業）

ア 地域の相談支援事業所に対応することができない個別事例への対応に関する事

イ 相談支援専門員に係る人材育成に関する事

ウ 利用者の支援に係る広域的な調整に関する事

エ 市内相談支援事業者との連絡調整に関する事

オ 児童発達支援センターとの連携に関する事

カ その他の関係機関（民生委員、高齢者、児童、保健・医療、教育、福祉、就労等に関する機関等）との連携に関する事

キ 一般相談（地域移行、地域定着）の促進に関する事

ク 秦野市障害者支援委員会の運営に関する事

ケ 秦野市権利保障実践チームの運営に関する事

(3) 指定特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

・ サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、相談支援に関する事

・ 入院及び施設入所支援利用者に対する地域移行支援及び地域定着支援計画の作成、相談支援に関する事

(4) 障害支援区分認定調査（秦野市からの委託事業）

3 令和2年度総括

新型コロナウイルス感染予防対策による緊急事態宣言で令和2年度は始まりました。

予定していた計画を変更しなくてはならず、また、人を集めないよう対応するために、研修会や連絡会の開催については、障害福祉課と連絡を取り慎重に進めました。部屋の換気や手指消毒、マスク着用、日々の体温、健康チェックもさることながら、いつ、どこで感染するかわからないという不安を共有し、訪問後の車内の消毒や相談室等使用後の消毒等を徹底して行いました。

一般相談支援については、新型コロナウイルス禍でありましたが、昨年度以上の実績を上げることとなりました。精神障害の方々の精神的不安の解消や、知的障害の方々の福祉サービス利用に関しての相談、また、市外から転居される方々への情報提供やその後の支援、障害者手帳を所持していない方や、匿名の方への相談についても対応しています。特に、関係機関と連携する機会が多くなり、高齢者支援センターとは8050問題、こども家庭支援課・児童相談所とは要保護児童やその家族の支援について協働して対応しています。地域共生推進課、ケアマネ協会等とひきこもりに関する調査にも協力をしました。

新規での相談も増えてきており、事業所や行政等からの紹介のほか、インターネットで調べて連絡をしてくる方もいます。相談件数が増え、事業所や関係機関とつながることでまた新たな相談が増えるという状況になってきています。

福祉サービスに繋がらない方々が多く、当所の地域活動支援センターや就労班とも連携して対応する機会も多くなっています。

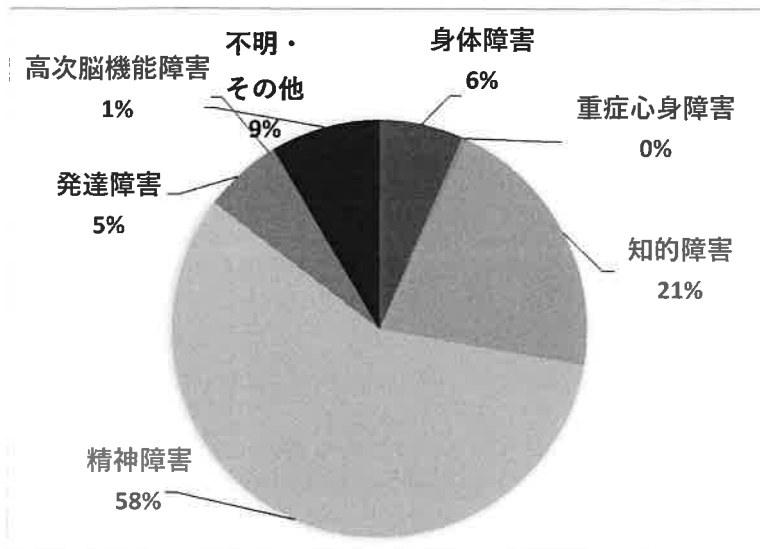
相談支援事業所等連絡会では、改めて相談支援体制に関するアンケート調査を実施し、圏域ナビゲーションセンターにアドバイスをいただきながら、障害福祉課と協働して集計作業に取り組みました。秦野市内の一事業所、一相談員が抱え込まない相談支援体制整備を目指し連絡会等で活用していきます。

4 事業内容

(1) 指定委託相談支援事業活動実績

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	不明・その他	計
障害者	16	1	51	141	13	2	21	245
匿名	2		6	14	1	1	21	45

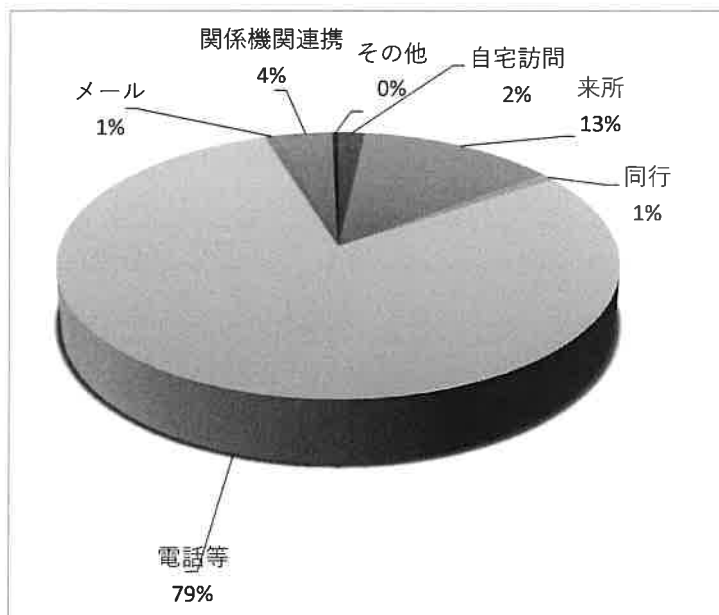


精神障害の割合が半数以上を占めている。
匿名についてはデータに反映していないが、不明の方が半数近くを占めている。

【令和元年度実績】 合計 304人
精神障害50%、知的障害35%、身体障害8%、発達障害1%、高次脳機能障害0%、その他6%、

b. 支援方法（延べ件数）

	自宅訪問	来所	同行	電話等	メール	関係機関連携	その他	計
件数	77	581	38	3,536	42	159	18	4,451



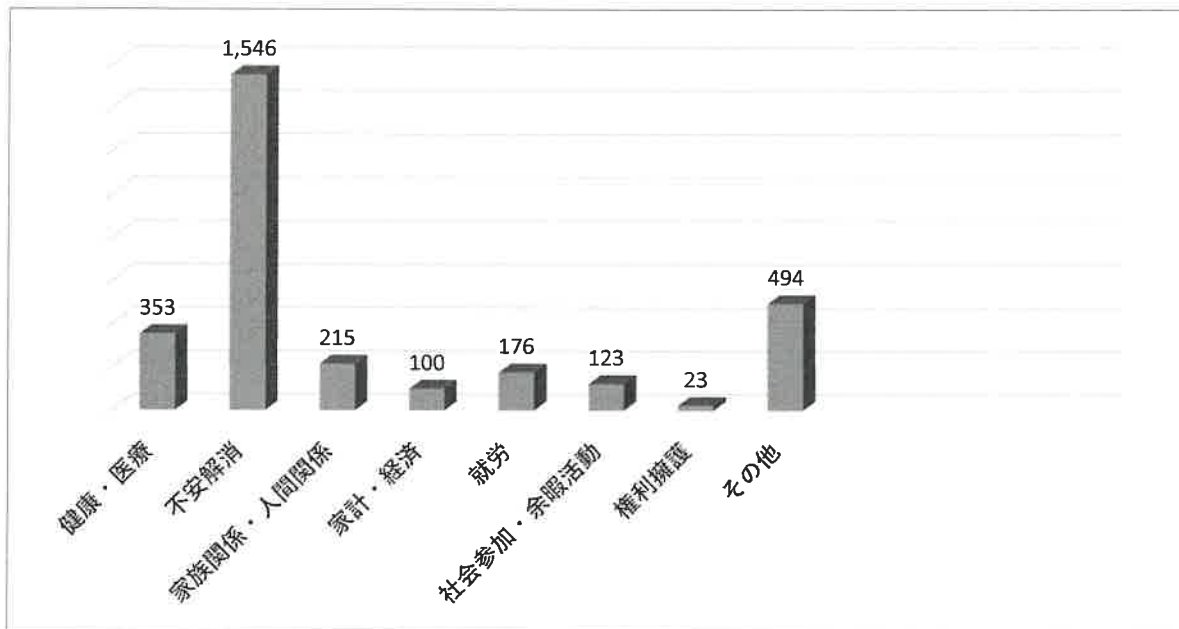
件数は前年度比145.9%一昨年度比240.9%で年々右肩上がりである。
コロナウィルスの影響もあり電話による相談が大半を占めている。また、件数は少ないがメールによる相談にも対応している。

【令和元年実績】 合計 3,051件
電話等58%、来所23%、関係機関連携8%、訪問7%、同行2%、ケア会議1%

C. 支援内容

※ 支援内容については主となる支援を1件としている

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	984	437	353	1546	215	100
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他		計
件数	176	123	23	494		4,451



【令和元年度実績】 合計 2,347件

福祉サービス利用781件、障害や病状理解368件、健康・医療397件、不安解消1280件、保育・教育12件、家族関係・人間関係519件、家計・経済218件、生活技術912件、就労617件、社会参加・余暇活動312件、権利擁護43件、その他268件

不安解消、福祉サービス利用に関する相談が増えてきている。就労については、就労班とすみ分けをして計上している。

不安解消については、日常生活の中で生じる些細なことから、他の内容とも重なるために、相談内容は多種多様化、複雑化し、実際には複数の相談内容となっている。その他の中には連絡調整や、日常生活、状況確認が含まれている。

委託相談実績

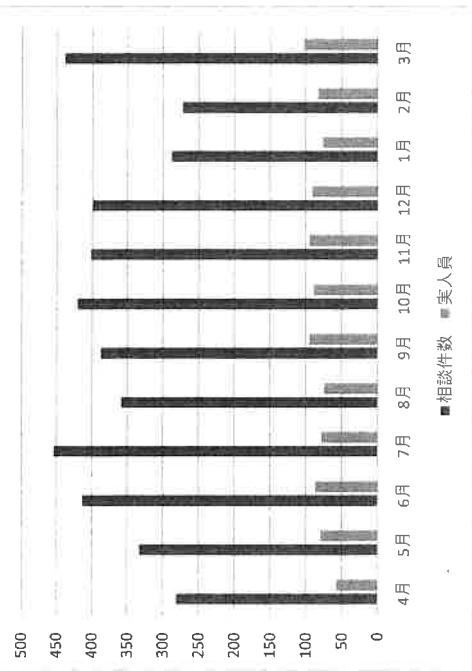
	単位：名			
	相談件数	実人員	匿名不明	計
4月	281	57	0	57
5月	333	79	5	84
6月	414	87	8	95
7月	454	78	5	83
8月	359	74	6	80
9月	388	95	1	96
10月	421	89	7	96
11月	402	95	4	99
12月	399	91	10	101
1月	288	76	1	77
2月	273	83	1	84
3月	439	103	2	105
計	4451			

	単位：名		
	男	女	不明
4月	37	20	0
5月	47	37	0
6月	46	47	0
7月	44	34	5
8月	36	43	1
9月	52	44	0
10月	51	43	2
11月	63	36	0
12月	54	46	1
1月	44	33	0
2月	49	35	0
3月	67	38	0

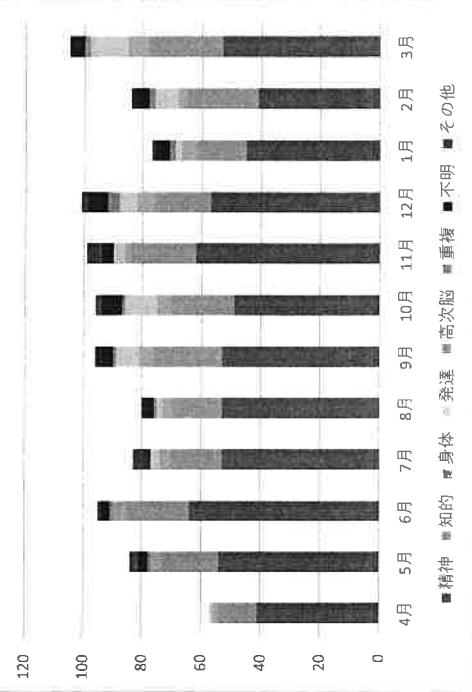
障害種別

	単位：名									
	精神	知的	身体	発達	高次脳	重複	不明	その他	計	
4月	41	13	2	1	0	0	0	0	57	
5月	54	19	4	0	1	0	3	3	84	
6月	64	21	5	0	0	1	3	1	95	
7月	53	17	4	3	0	0	0	6	83	
8月	53	17	3	2	1	0	4	0	80	
9月	53	23	5	8	1	0	6	0	96	
10月	49	21	5	11	1	0	7	2	96	
11月	62	22	2	4	0	0	4	5	99	
12月	57	19	6	6	3	1	7	2	101	
1月	45	16	6	2	0	2	5	1	77	
2月	41	24	3	8	0	2	6	0	84	
3月	53	25	7	13	0	2	5	0	105	

委託相談実績



障害種別

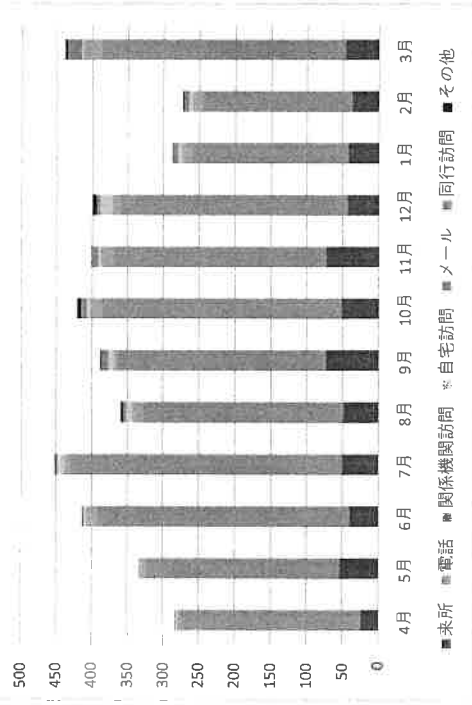


支援方法

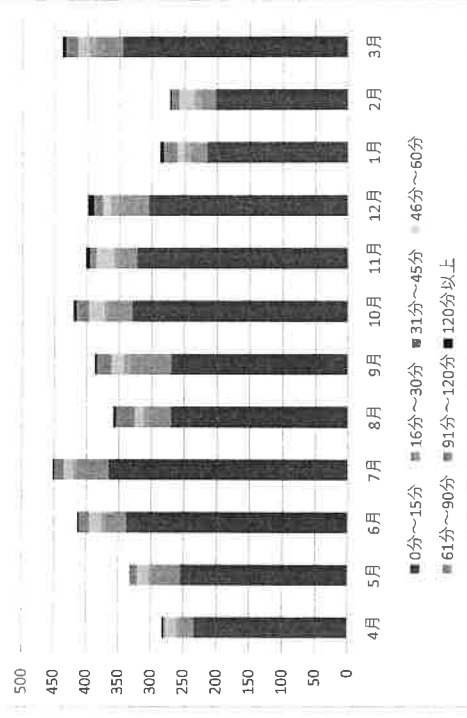
	支援方法							計
	来所	電話	関係機関訪問	自宅訪問	メール	同行訪問	その他	
4月	24	250	5	3	0	1	0	283
5月	54	268	8	2	0	1	0	333
6月	40	353	15	4	2	0	0	414
7月	50	380	9	9	1	2	1	452
8月	48	279	16	9	2	3	2	359
9月	73	291	5	8	8	2	1	388
10月	51	335	17	5	6	2	5	421
11月	73	297	18	4	4	6	0	402
12月	43	316	13	17	2	3	5	399
1月	42	218	13	7	1	7	0	288
2月	37	208	14	6	2	5	1	273
3月	46	341	26	3	14	6	3	439
	581	3536	159	77	42	38	18	4451

	対応時間							計
	0分～15分	16分～30分	31分～45分	46分～60分	61分～90分	91分～120分	120分以上	
4月	234	22	5	17	2	1	2	
5月	255	44	5	18	8	3	0	
6月	338	32	7	19	13	4	1	
7月	366	49	6	15	9	6	1	
8月	271	33	9	14	22	7	3	
9月	270	63	10	19	13	10	3	
10月	330	37	6	24	15	5	4	
11月	323	27	8	28	7	3	6	
12月	305	46	12	13	12	2	9	
1月	216	24	11	11	14	7	5	
2月	203	21	11	24	9	3	2	
3月	345	41	11	18	15	4	5	
	3456	439	101	220	139	55	41	

支援方法



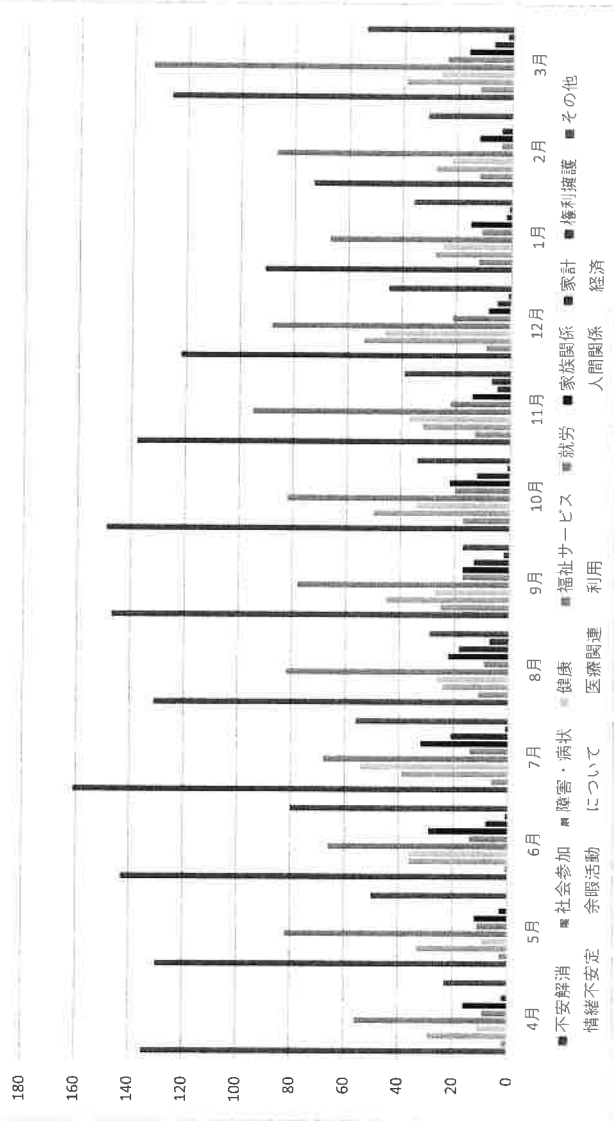
対応時間



相談内容

月	相談内容											計		単位：名
	不安解消 情緒不安定	社会参加 余暇活動	障害・病状 について	健康 医療関連	福祉サービス 利用	就業	家族関係 人間関係	家計 経済	権利擁護	その他	計	単位：名		
4月	135	2	29	11	56	9	16	2	0	23	283	283		
5月	130	3	33	9	82	11	12	3	0	50	333	333		
6月	143	1	36	36	66	14	29	8	1	80	414	414		
7月	161	6	39	54	68	14	32	21	1	56	452	452		
8月	131	11	24	26	82	9	22	18	7	29	359	359		
9月	147	25	45	27	78	17	17	13	2	17	388	388		
10月	149	17	50	34	82	20	22	12	1	34	421	421		
11月	138	13	32	37	95	22	14	5	7	39	402	402		
12月	122	9	54	46	88	21	8	5	1	45	399	399		
1月	91	12	28	25	67	11	15	2	1	36	288	288		
2月	73	12	28	22	87	4	12	4	0	31	273	273		
3月	126	12	39	26	133	24	16	7	2	54	439	439		
	1546	123	437	353	984	176	215	100	23	494	4451	4451		

相談内容



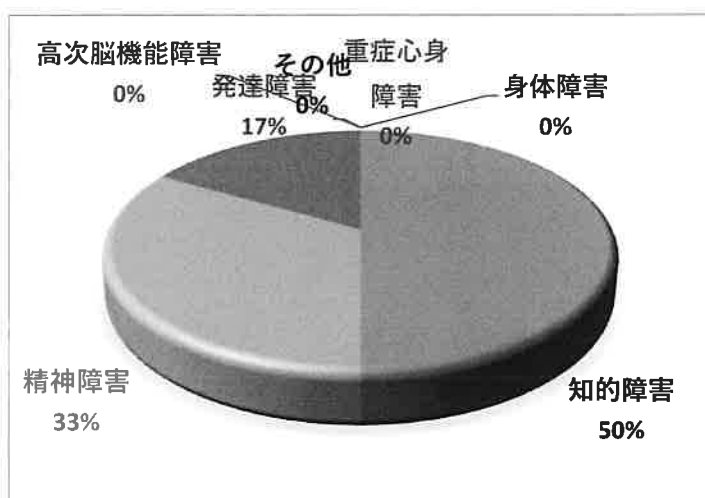
(2) 基幹相談支援センター業務（委託）

個別事例、地域支援件数等

基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所に対応することのできない個別事例への対応及び、市内相談支援事業所の連絡調整や相談支援専門員の人材育成等を目的に、相談支援事業所等連絡会を開催しました。

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
障害者	0	0	2	2	1	0	0	5
障害児	0	0	1	0	0	0	0	1
計	0	0	3	2	1	0	0	6



計画相談支援事業所の支援困難事例等に対するアドバイザー及び計画相談へのつなぎ役として対応しました。

【令和元年度実績】 合計9人
 知的障害45%、身体障害11%、
 精神障害33%、発達障害0%

b. 支援方法

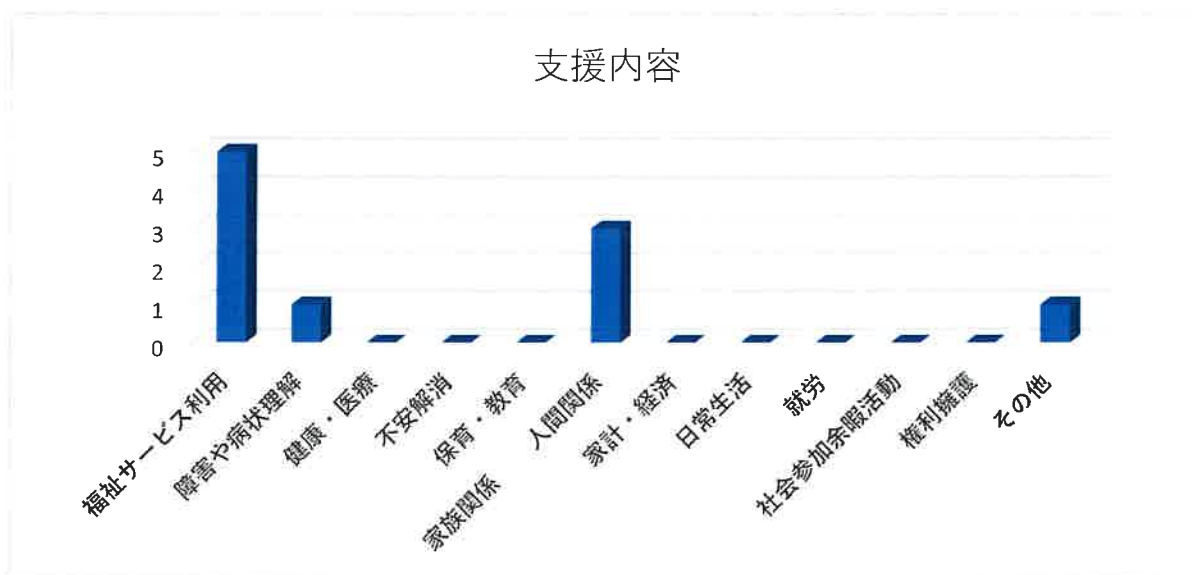
	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関連携	合計
件数	3	0	0	7	0	0	10

ケア会議の開催や出席、関係機関との連絡調整等を中心に支援を行いました。個別支援については、委託相談との兼ね合いに整理をつけることとして取り組みました。

【令和元年度実績】 合計 10件
 訪問0件、来所0件、同行0件、電話等2件、ケア会議8件、関係機関連携0件

c. 支援内容

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係	家計・経済	日常生活
件数	5	1	0	0	0	3	0	0
	就労	社会参加余暇活動	権利擁護	その他				
件数	0	0	0	1				
								合計
								10



【令和元年度実績】 合計 12件
 福祉サービス利用4件、障害や病状1件、日常生活1件、権利擁護1件、その他5件

個別相談は、継続的に当所に対応するか否かで、委託相談と仕分けをしています。

(3) 権利保障実践チーム実績報告

1 件数

実人数 24名（延べ 83名） 匿名・不明を1件としてカウント

※昨年度：実人数 10名（延べ 64名）

2 相談内容

内容	権利侵害	権利擁護	支援困難	成年後見	周知活動	計
件数	12	36	13	22	25	108

3 周知活動

(1) パンフレット・冊子配布

活動を広げる目的として、支援者が権利保障実践チーム（以下、本チーム）の利用イメージが持てるよう、基幹研修会や相談支援事業所等訪問の機会に、パンフレット・冊子の配布をしました。

(2) 中核機関との連携に関する検討

成年後見制度利用促進法の中で設置を進めている中核機関（秦野市成年後見利用支援センターが受託）の機能のうち、後見人支援機能の「専門職との連携」については、本チームの機能拡充について、検討しました。

4 考察

(1) 周知活動について

事業所訪問の際に冊子を配布するなど、活動の共有化を図り、周知活動を行った結果、昨年度に比べ相談数が増加しました。

(2) 相談内容について

「ぱれっと・はだの」内に成年後見班（NPO 法人総合福祉サポートセンターはだの）が併設されているため、昨年度同様成年後見に関する相談が多い結果となりました。

(3) 支援方法について

コロナ禍の影響により、電話・メールによる手段が約半数を占めました。暫くはこの傾向が続くものと推測されます。

(4) 支援内容について

昨年度に続き、成年後見の市長申立てについて、サービス利用や居住地などが複数の市町村にまたがる方が行政内でたらい回しとなってしまう、どうしたら良いかという相談がありました。

また、コロナ禍による施設やグループホームの外出制限に伴い、精神的に不安定となった方の支援について、支援者が支援の困難性を感じたことから、初めて、臨床心理士を派遣し、支援方針の見直しを行う会議を継続して行いました。

(4) 障害支援区分認定調査

調査員の分担については、秦野市が年度当初に一括して委託している相談支援事業所等へ依頼をしており、調査員の派遣による認定調査を実施しました。

秦野市内外を含めて68件実施し、内訳は、新規45件、更新23件でした。

早急に区分が必要なケースや、連絡調整や対応に工夫が必要なケースも多く、特に、新規については、日程調整の時点で調査の必要が無くなる事例が9件あり、制度に関する周知の必要性を感じました。また、新型コロナウイルス対策のため、施設内に立ち入ることができず1年延期となるケースやリモートで行うケースもありました。

(5) 地域生活支援拠点整備

地域生活支援拠点としての一機能である「緊急時の受け入れ・対応」に関して当事者団体(委員会・支部会)への説明会を3回行い、6名の登録がありました。令和3年度以降も継続して体制整備しつつ実践につなげていきます。

基幹相談支援センターとして出席した会議等

1 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク会議

回数	開催日	場所	内容
1	令和2年9月25日	Web(zoomミーティング)	1 神奈川県障害者自立支援協議会、 湘南西部圏域自立支援協議について 2 昨年度の実績及び今年度の取り組み予定について 3 意見交換
2	令和3年1月15日	Web(zoomミーティング)	1 報告事項 ・湘南西部圏域ナビゲーションセンター事業活動実績・予定 ・圏域自立支援協議会、市町村自立支援協議会に実施状況 ・新型コロナウイルスに関して 2 各市町村の状況について 3 意見・情報交換

2 まちかど福祉相談室（秦野市社会福祉協議会主催）

開催日	場所	内容
月1回	おおねふれあい館	社会福祉協議会、大根地域高齢者支援センターと共に、 大根地区の方々への相談支援

3 秦野市成年後見制度利用促進計画ワーキンググループ

1	令和2年6月30日	秦野市保健福祉センター	1 秦野市成年後見制度利用促進基本計画について 2 成年後見制度活用検討ガイドライン秦野市版について 3 「地域連携ネットワークの中核となる機関」としての具体的な進め方について
2	令和2年8月24日	秦野市保健福祉センター	1 秦野市成年後見制度利用促進基本計画について 2 各機関へのヒアリング結果中間報告について
3	令和2年10月16日	はだのクリーンセンター	1 ヒアリング結果中間報告について 2 8050問題への取り組み状況について 3 課題整理と今後の進め方について

4 秦野市成年後見ネットワーク連絡会

1	令和2年7月9日	秦野市保健福祉センター	1 令和元年度秦野市成年後見利用支援センター事業報告 2 令和2年度秦野市成年後見利用支援センター事業計画 3 秦野市成年後見制度利用促進基本計画について 4 秦野市成年後見制度活用検討ガイドラインについて
2	令和2年9月11日	秦野市文化会館	研修 「成年後見制度と日常生活自立支援事業の違いについて」
3	令和2年10月16日	はだのクリーンセンター	1 秦野市成年後見制度利用促進基本計画について 2 秦野市成年後見ニーズ調査最終報告について 3 秦野市成年後見制度利用促進計画ワーキンググループ中間報告
4	令和3年2月4日	書面開催	1 足立区社会福祉協議会 高齢者あんしん生活支援事業視察報告 2 令和2年度第3回ワーキンググループ報告

5 平塚養護学校との連絡会

1	令和2年11月27日	平塚養護学校	肢体不自由児部門児童生徒の進路に関わる連絡会
2	令和3年2月17日	平塚養護学校	移行支援会議

6 その他

- ・ 秦野市要保護児童対策協議会（個別ケース検討会）
- ・ ひきこもりの支援を推進する会（地域共生推進課、ケアマネ協会、高齢者支援センター、こども家庭支援課）
- ・ はたのホーム地域移行推進協議会
- ・ 施設入所児童の地域移行に係る連絡会（平塚児童相談所）
- ・ 高齢者支援センター主催「地域ケア会議」

相談支援事業所等連絡会（対象：相談支援専門員等）

回数	実施日	内 容
1	令和2年4月16日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	中止
2	令和2年5月14日 14:00～16:30 秦野市保健福祉センター第4会議室	中止
3	令和2年6月18日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報共有】 第5期秦野市障害福祉計画について 【情報交換】 新型コロナウイルス感染症対策禍の相談支援状況について
4	令和2年8月20日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報交換】 家族支援の必要な事例について 【情報交換】 養護学校との情報交換会 ※卒業後の福祉サービス利用による計画相談に関する連携について
5	令和2年9月17日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報共有】 計画相談のモニタリング該当月について グループホームの空き情報について 【情報交換】 福祉型障害児入所施設わらべの杜について
6	令和2年10月15日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報共有】 計画相談の必要性と対応状況 【情報交換】 精神障害者への支援について ※平塚保健福祉事務所秦野センターより
7	令和2年11月19日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報共有】 相談支援専門員情報交換会 【情報交換】 相談支援体制について
8	令和2年12月17日 14:00～16:30 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報共有】 虐待防止・権利擁護 【情報交換】 相談支援体制について
9	令和2年2月18日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	中止
10	令和2年3月26日 14:00～16:30 本町公民館多目的ホール	【情報共有】 相談支援専門員情報交換会 【情報交換】 相談支援体制について

基幹研修会（対象：相談支援専門員、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者等）

回数	開催日	内 容
1	令和2年7月11日 13:30～16:30 秦野市文化会館第4会議室	【研修会】 日常生活の中に潜む権利侵害 ～支援者として留意すること～ 講師 みなと横浜法律事務所 内嶋 順一 氏
2	令和3年1月19日 13:30～16:30 秦野市保健福祉センター第4会議室	【研修会】 スーパービジョンについて 講師 カビーナ貴志園 施設長 小川 陽 氏

相談支援事業所訪問 5事業所 7名の相談員と面談

相談支援専門員現任研修におけるインターバル研修の対応 4事業所 6名来所

秦野市障害者支援懇話会

1 総合部門

回数	実施日	内容
1	令和2年6月26日 ぱれっと・はだの	・秦野市における日中サービス支援型共同生活援助の新設について
2	令和2年10月28日 ぱれっと・はだの	・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・障害福祉課より
3	令和3年1月8日 希望の丘はだの	・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・障害福祉課より

2 相談部門

回数	実施日	内容
1	令和2年7月29日 ぱれっと・はだの	・令和2年度相談部門主な所掌業務について
2	令和2年9月30日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について
3	令和2年12月15日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について ・セルフプランの考え方、判断 ・養護学校卒業生への対応 ・医療的ケア児等コーディネーターについて
4	令和3年2月 書面開催	・令和2年度の取り組み ・次年度引継ぎ事項

3 就労部門

回数	実施日	内容
1	令和2年9月11日 秦野市クリーンセンター	・今年の活動方針について ・啓発セミナー実施チームより
	令和2年5月22日 秦野市総合体育館	秦野市福祉事業所合同説明会（中止）
2	令和2年12月11日 希望の丘はだの	・希望の丘はだの・秦野精華園見学 ・秦野市障害者支援懇話会総合部門報告 ・情報収集と精査、関連部署への状況報告 ・市内就労支援サービス事業所（サビ管）ネットワークの情報交換 ・啓発セミナーの実施
3	令和3年3月16日 希望の丘はだの	・「障害者就労支援に関するアンケート」の集計結果報告から ・啓発セミナー実施チームより ・今後の活動について

4 地域共生部門

回数	実施日	内容
1	令和2年9月7日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・自治会との関わりについて ・要配慮用ビブスの購入・活用方法について ・リーフレット作成・配布について ・防災課の連携について ・当事者連絡会 ・懇話会総合部門、障害者支援委員会に対する要望について
2	令和2年12月8日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・自治会との関わりについて ・要配慮者用ビブスの配布について ・防災課との連携について ・住まいの問題について ・当事者連絡会より

4-2 当事者団体懇談会

1	令和3年2月10日 ぱれっと・はだの	・障害者の成年後見・住まいの実態について
---	-----------------------	----------------------

5 福祉サービス部門

5-1 短期入所（緊急時対応）に関するNW構築に向けた会議

回数	実施日	内容
1	令和2年12月15日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応フロー図説明 ・平常時対応フロー図説明
2	令和3年3月25日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・ぱれっと・はだのが検討を進めている地域生活支援拠点の仕組みと連携・連動を図り検討していくことを合意

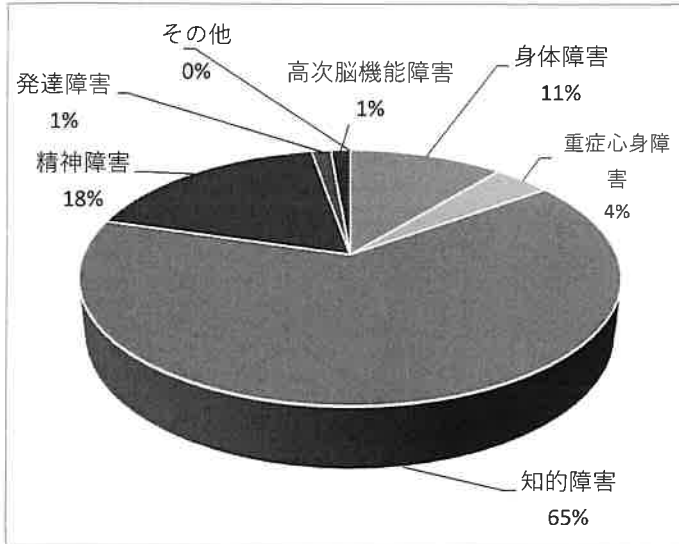
秦野市障害者支援委員会

回数	実施日	内容
1	令和2年7月7日 はだのクリーンセンター2階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度障害福祉関係予算について ・秦野市障害者支援委員会懇話会部門再編成について ・第6期秦野市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について ・相談支援事業の報告について ・障害者虐待防止の報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について
2	令和2年11月10日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・第6期秦野市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について ・新型コロナウイルス感染対策について ・障害福祉サービス事業所におけるコロナ陽性者の情報について
3	令和3年1月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・第6期秦野市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について ・第4期地域福祉計画（案）について

(6) 指定特定相談支援事業

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
障害者	8	3	44	13	0	1	0	69
障害児	0	0	3	0	1	0	0	4
合計	8	3	47	13	1	1	0	73

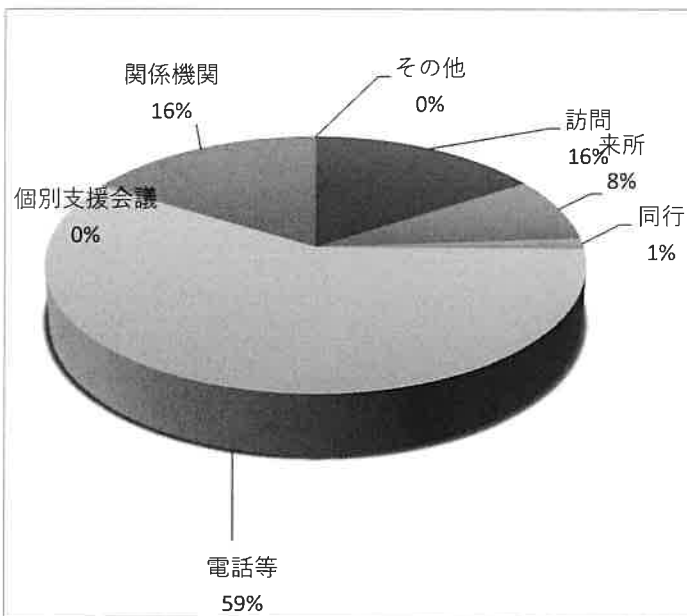


新規利用者は8名。転居等で終了した人は7名。
知的障害の割合が65%を占めています。

【令和元年度年度実績】
合計 69人
精神障害22%、知的障害64%、
身体障害10%、発達障害12%、
重症心身障害3%

b. 支援方法（延べ件数）

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	288	146	23	1,063	8	290	0	1,818



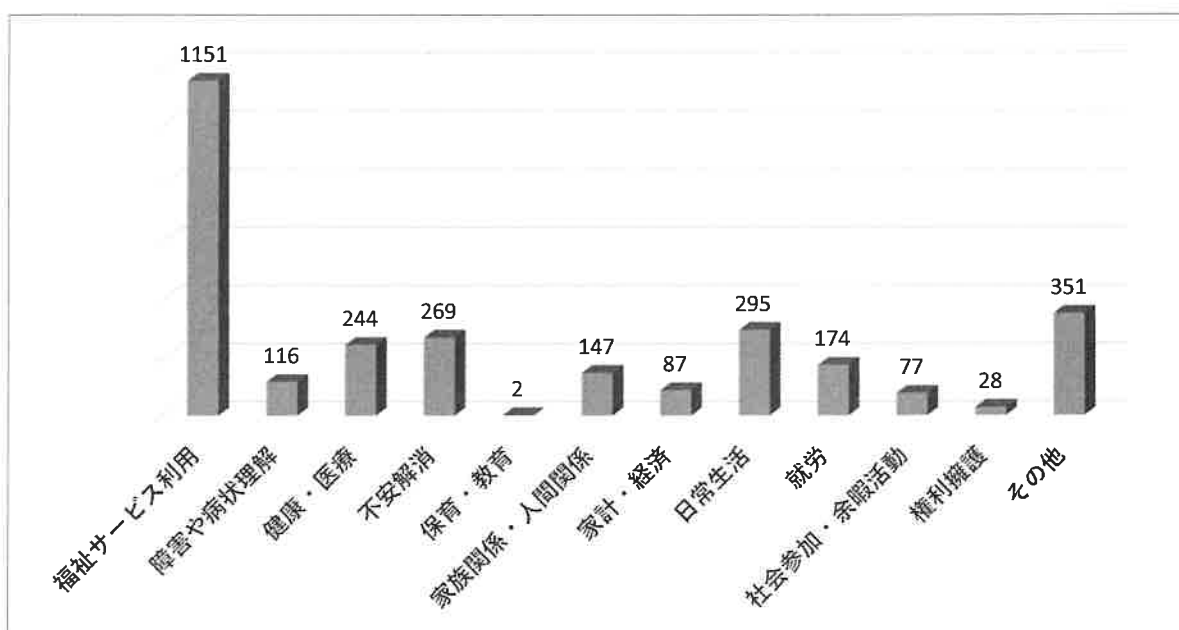
件数は前年度比150.2%。複数のサービスを利用しており調整等の電話対応が多くなりました。
モニタリングについては訪問することを原則としているが、表には反映されていない市外サービス利用者が16名いました。

【令和元年度実績】
合計1,210件
訪問29%、来所13%、電話等27%、ケア会議3%、関係機関連携34%、

C. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしています。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	日常生活
件数	1151	116	244	269	2	147	87	295
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計			
件数	174	77	28	351	2,941			



【令和元年度実績】 合計 1659件

福祉サービス利用887件、障害や病状理解34件、健康・医療119件、不安解消12件、保育・教育4件、家族関係・人間関係92件、家計・経済82件、日常生活96件、就労71件、社会参加・余暇活動4件、権利擁護13件、その他48件

計画相談については、サービスを利用する人もサービスを提供する事業所も増えてきており、特に市内にはグループホーム（共同生活援助）が開設されています。また養護学校に限らず、サポート校を卒業する生徒の相談も対応しています。その他では、状況確認や、市役所への手続きや通院先への同行等が含まれています。

市内事業所では、新規が受け入れられない状況もあり、当所での新規作成若しくはセルフプラン作成補助を行っています。

【 地域活動支援センター事業 】

1 フリースペース運営

秦野市在住の精神障害の方（重複障害の方を含む）を対象として新型コロナウイルス感染症のリスクを避けるための対策を行い 皆様に安心安全にご利用いただくよう意識して取り組みました。

- (1) 開所日数 289 日
 (2) 登録者人数 64 名 (男性 34 名 女性 30 名)
 (3) フリースペース延べ利用者数 1,642 名 (男性 957 名 女性 685 名)
 (4) フリースペース月別実人数利用者数 ※1 ヶ月平均利用者数およそ 25 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	9	7	10	16	15	16	17	18
女性	6	7	8	12	16	10	13	11
合計	15	14	18	28	31	26	30	29

	12月	1月	2月	3月
男性	15	19	20	16
女性	10	7	8	11
合計	25	26	28	27

2 プログラム開催

あらゆるニーズに応える様々なプログラムを行いました。実施を見合わせたものもありましたが 可能な限りプログラムを開催することで 障害のある方の暮らしが楽しく張りのあるものとなるよう「コロナ時代」に合わせた新たなプログラムの創設、柔軟な運営に努めました。

(1) 利用者ミーティング (8回)

フリースペースでのルール確認や利用者意見を基に円滑な運営を行いました。

(2) 健康相談会 (9回)

看護師と管理栄養士が健康の悩みなどの相談に対応し健康管理をサポートしました。(体重測定、血圧測定、問診と助言、病気・お薬についての相談、栄養相談、健康や体調管理に関する様々なご相談、水無川ウォーキング、健康効果のある歩き方指導、靴の選び方等の助言)

(3) 文化系プログラム (13回)

頭や手を動かすようなプログラムを実施しました。プログラムを通して利用者同士のコミュニケーションも図りました。(アロマと音楽、朗読会、コラージュ、つまみ細工、写経、干支の起き上がりこぼし、書初め、プチお正月飾り、万華鏡作り、羊毛フェルトでマスコット作り、絵手紙、気軽に音楽を聴こう、切り株チェア製作)

(4) 野外活動系プログラム (11回)

気分転換やストレス発散、思考力や想像力の向上、記憶力改善等の効果が期待できました。(戸川公園に行こう、森林セラピーロードを歩こう、春を探して、桜を見に行こう、園芸活動、サツマイモの掘り取り、里芋の掘り取り)

(5) 運動系プログラム (6回)

体力づくりや健康維持に役立てました。(ヨガ教室)

(6) 社会資源紹介プログラム (1回)

利用可能な社会資源を紹介し利用を促進しました。(就労移行支援事業所「りんく」による就労を目指す人のための勉強会)

(7) その他

季節のイベントにより、仲間とのコミュニケーションや利用者同士の交流も深まりました。(クリスマス会)

3 ピアサポート活動支援事業

(1) ピア相談会 (毎月第3火曜日定期開催)

①開催回数	9回
②ピアサポーター活動延べ人数	20名
③相談者延べ人数	10名

(2) ピアのつどい (毎月第1木曜日開催)

①開催回数	10回
②ピアサポーター活動延べ人数	58名

(3) ピア学習会 (令和2年7月～令和3年3月)

①開催回数	7回
②ピアサポーター新規登録者(新任)	7名
③ピアサポーター継続登録者(現任)	8名

(4) ピア活動普及啓発及び地域交流

①活動回数	16回
②活動内容	

- ・みくるべ病院退院促進プログラムでの助言
- ・秦野曾屋高校福祉教育授業での体験発表
- ・秦野総合高校福祉教育授業での体験発表
- ・東京医科歯科大学での体験発表
- ・国際医療福祉大学での体験発表
- ・ボイスピアはだの(当事者・家族による体験発表、交流会)開催
- ・県西地区ピアサポーターとのオンライン交流
(小田原ピアサポート事業研修・交流会)
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを検討する秦野市主催協議会への参加

(5) ピアサポーターへの支援

《ピアサポーターへの具体的な個別支援の例（個別相談対応等支援）》

【Aさんへの支援】

ピア活動への参加について、主治医から参加の許可についての詳細を聞くために、本人の了承を得て受診同行を実施しました。主治医が反対していることはなく、高齢による認知機能の影響を知ることができました。ピア活動に意欲はあるものの高齢による心身の不調もあり、体験発表会登壇を中止する話題について、本人が納得するまで何度も話し合いを重ねました。声が通らないため登壇する活動は困難なことから、口頭での体験発表という形ではなく 回顧録という形で発表するという提案に納得され、あらたな取り組みに意欲的です。

【Bさんへの支援】

妄想等の病状悪化がみられ、関係機関の支援者と情報共有を行いました。本人はピア活動に意欲をもっていることから、事務局で参加する事業を絞ったり、事前の電話連絡で参加の有無を確認するなどして、病状と向き合っていたきながら、無理なくピア活動に参加できるよう継続的に支援しました。

【Cさんへの支援】

ピア活動への参加を希望しやる気に満ちていましたがほどなく病状が悪化しました。家族から情報を得て、本人意向を確認し現在は休養しています。病状が回復したときには、その方らしいピア活動を一緒に模索します。

【Dさんへの支援】

ピア活動に意欲的、積極的です。PCスキルに長けていることから『YOUとピア通信』という広報紙の編集やオンライン発表会の中心的役割を担って頂きました。その活躍ぶりから、ピアスタッフ（事業所と雇用契約を結び、活動には給与が発生するピアサポーターのこと）を探している訪問看護事業所に紹介、希望する就労に結びつけることができました。

4 広報活動

(1) ぱれっと・はだのミニ（毎月発行）

障害のある方の地域生活に役立つさまざまな情報を発信しました。暮らしが彩り豊かになる地域の情報や「ぱれっと・はだの」に親近感が出るような紙面作りを心がけました。

(2) ぱれっと・はだのプログラム予定表（毎月発行）

毎月の活動予定を分かりやすく掲載するよう紙面構成を工夫しました。

(3) YOUとピア通信（不定期…創刊号、第2号発刊済み）

あなた（YOU）とピアを結ぶ新聞であるという意味を込めてピアサポーターが発案しました。

(4) ホームページ

社団のホームページに地域活動支援事業のタブ（ページ）を作成し、フリースペース、プログラム、ピア活動支援等の地域活動支援事業を掲載しました。

5 相談支援

- (1) 開所日数 289 日
(2) 相談者延べ人数 789 名
(3) 支援件数 3,969 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
電話	277	260	344	356	251	275	235	250
面談	20	44	22	42	34	101	39	41
訪問	5	7	18	23	20	14	6	12
同行	2	7	1	2	3	0	2	4
合計	304	318	385	423	308	390	282	307

	12月	1月	2月	3月	合計
電話	319	215	214	297	3,293
面談	37	41	25	35	481
訪問	7	19	16	17	164
同行	0	7	3	0	31
合計	363	282	258	349	3,969

(4) 相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
福祉サービス利用	66	42	47	87	77	51
障害・病状について	29	31	37	36	22	44
健康・医療関連	14	12	38	51	18	18
不安解消・情緒不安定	152	143	154	167	137	202
家族関係・人間関係	0	12	27	26	9	15
家計・経済	16	2	1	12	11	6
就労	10	14	14	4	3	11
社会参加・余暇活動	1	3	1	5	8	31
その他	16	59	66	35	23	12
合計	304	318	385	423	308	390

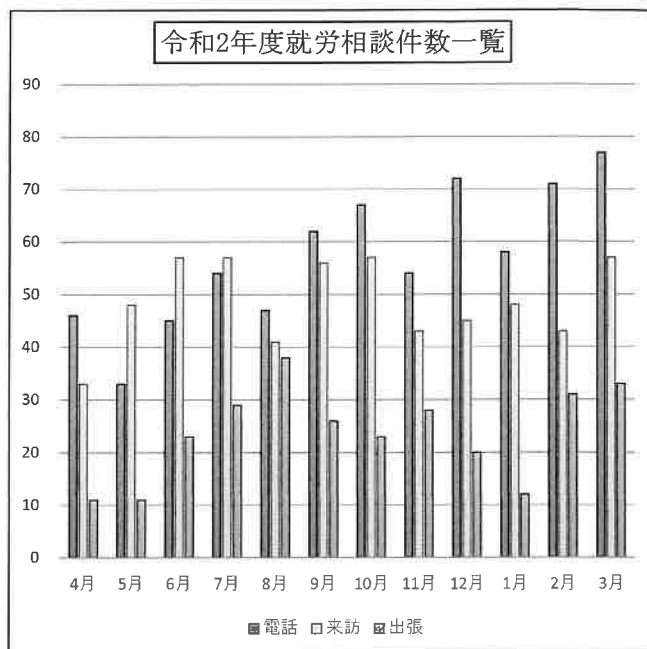
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用	22	22	42	62	81	86	685
障害・病状について	36	24	56	28	19	40	402
健康・医療関連	20	23	30	23	12	13	272
不安解消・情緒不安定	127	132	158	92	99	153	1,716
家族関係・人間関係	13	11	4	15	11	10	153
家計・経済	6	2	0	2	5	9	72
就労	17	40	27	11	2	18	171
社会参加・余暇活動	15	15	11	12	9	7	118
その他	26	38	35	37	20	13	380
合計	282	307	363	282	258	349	3,969

【 就労支援事業 】

- 1 就労相談件数については、毎年増加傾向にあるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、電話相談は令和元年度に比べ、150件以上増えました。就労班の支援員は、訪問等により外出する事が多いため、予約なしで来所されてもすぐに相談に応じられないケースが増えてきております。相談者にはできるだけ事前予約をお願いしています。また、電話相談については、最低限一人が対応できる体制を整えています。就労先等への訪問件数は昨年と比べて62件減り、実習や見学を断られる企業もありました。
- 2 就労相談の内容については、新規に就労先を探す人より、すでに就労している人が会社の業績が悪くなって、解雇されたり、勤務時間を減らされたりして相談に訪れる人が増えています。また、仕事以外でも通院同行やグループホームの紹介等生活面での具体的支援に追われるケースも多くなっています。情緒的に不安定になり、人間関係がうまく構築できず頻繁に相談に訪れる場合には、相談班と連携しながら複数で相談に応じています。
- 3 関係機関との連携においても、相談者や登録者がハローワーク松田に直接就労先を探しに行くことができない時期が続き、定期的に行っていた関係機関との情報交換会がほとんどできなかつた。電話やファックスのみで情報をもろうことしかできず、十分な就労支援が行えなかつた。
- 4 職業準備訓練の場として「ゆめ散歩」で体験や実習を行ってきたが、企業の生産計画にも影響が出て、受注作業件数も減り、養護学校生の実習や就労体験希望者が大きく減少しました。
- 5 障害者の保護者と地域の福祉事業所を結ぶ場として5月に予定されていた福祉事業所合同説明会が開催することが出来なかつた。
- 6 農福連携マッチング支援事業については、秦野市、社会福祉協議会、JA、養護学校、福祉関係者等との話し合いを重ね、現在農業者と福祉施設とのマッチングを図っています。

令和2年度 就労相談件数一覧表

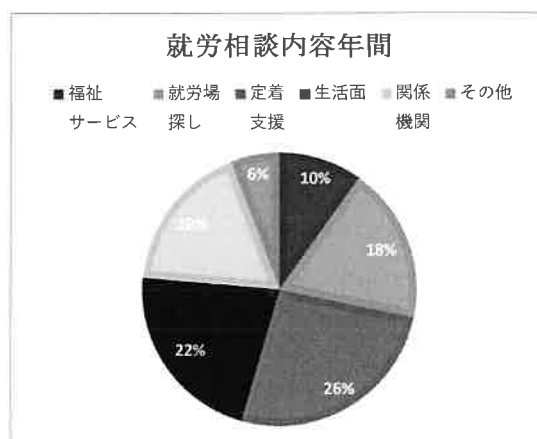
	電話	来訪	出張	月合計
4月	46	33	11	90
5月	33	48	11	92
6月	45	57	23	125
7月	54	57	29	140
8月	47	41	38	126
9月	62	56	26	144
10月	67	57	23	147
11月	54	43	28	125
12月	72	45	20	137
1月	58	48	12	118
2月	71	43	31	145
3月	77	57	33	167
合計	686	585	285	1,556



令和2年度 就労相談内容の内訳

※相談内容により1件の相談が複数にわたる場合あり

	福祉サービス	就労場探し	定着支援	生活面	関係機関	その他	計
年間計	196	365	520	434	352	116	1,983
年間率	10%	18%	26%	22%	18%	6%	100%



令和2年度 障害種別就労登録者数

障害別	精神障害	知的障害	身体障害	合計
人数	24	32	5	61

令和3年3月末現在の利用者数

利用内容	人数
登録後 福祉サービス就労継続A型	13
登録後 福祉サービス就労継続B型	39
登録後 福祉サービス就労移行	2
登録後 一般就労（養護学校卒業生72名含む）	140
登録後 求職中	32
登録者総数（身体17名+知的115名+精神94名）	226
相談のみ（登録なし）	32

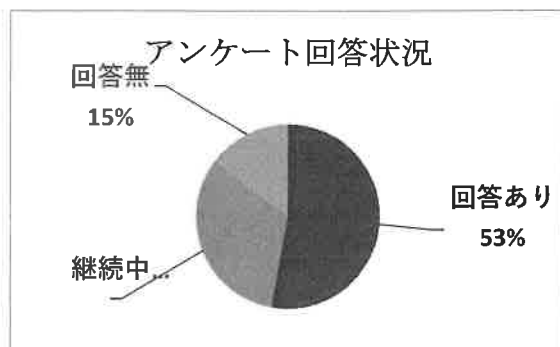
令和2年度就労班利用者へのアンケート結果報告

登録者に対して、現在の状況を把握するためにアンケートを行いました。

対象者は214名。【回答者：113名 無回答支援継続中：69名 無回答者：32名】

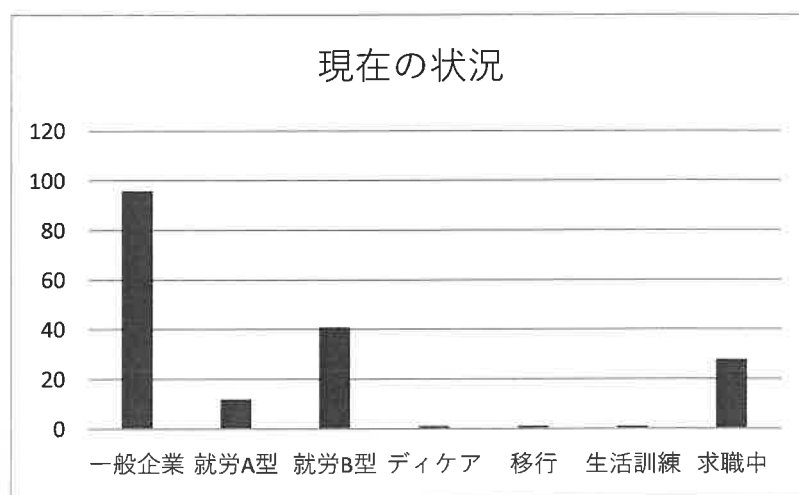
登録者の約半数の方より回答があり、就労班の職員が、継続的に支援をしています。

回答はありませんでしたが、現在も継続的に支援をしている利用者は69名でした。



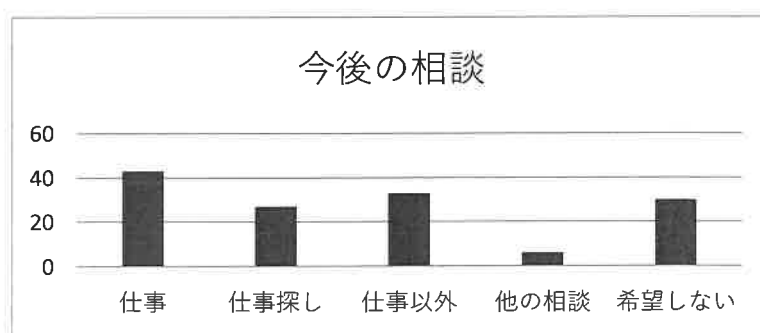
【現在の状況について】

一般企業	96名
就労継続A型	12名
就労継続B型	41名
ディケア	1名
就労移行	1名
生活訓練	1名
求職中	28名
合計	180名



【今後の相談について：複数可】

仕事の相談	43名
仕事を探してる	27名
仕事以外の相談	33名
他の相談	6名
相談を希望しない	30名



【まとめ】

今後においては、就労支援を受けながら、就労以外の相談希望者もいますので、利用者一人一人の相談内容にあった支援を行っていきたいと考えています。

また、就労できたが、なかなか継続しての就労が難しい方々が多くなってきています。この方々には、就労定着支援を行っていきたいと思います。

今回のアンケートにおいて、無回答の方や、相談を希望しない方でも、今後、相談の連絡があった場合には、その都度支援を行っていきたいと思います。

【 ともしびショップ「ゆめ散歩」事業報告 】

1 委託事業等

- (1) さかえちょう公園休養施設清掃等 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- (2) 秦野市本庁舎等庭園管理業務
 - ・フラワーポット（本庁舎・分庁舎・西庁舎）14個 （弘済学園）
 - ・本庁舎正門花壇及びモニュメント花壇の植替え、草花の管理（弘済学園）
- (3) 障害児在宅生活等応援事業（12） 心の贈り物（クリスマスプレゼント）
- (4) 戸川公園花壇植え込み業務（神奈川県） 夏：くず葉学園 秋：弘済学園
- (5) NEXCO中日本東名周辺及び高架下草刈業務
夏・秋2回 かがやき2か所、くず葉学園1か所
- (6) 秦野市文化会館事業協力 焼菓子・自主製品販売 12月5日
大根工芸・かがやき・鶴巻工芸・やまばと学園・ちっちゃな星の会
- (7) 秦野市の行事記念品作成等業務 10月24日 社会福祉大会
- (8) 東名売店販売（中井サービスエリア） （大根工芸）
- (9) 富士見の湯売店販売 （大根工芸）
- (10) 介護予防ボランティア配布用新型コロナウイルス感染症対策用品納品
9月～3月（7か月間） ちっちゃな星の会・かがやき・鶴巻工芸・
秦野ワークセンター・いんくるネット

2 各事業所自主製品の販売促進事業

- (1) 秦野市市営鶴巻温泉「弘法の里湯」内の売店「やまなみ」
[出品事業所] 秦野精華園・弘済学園・ちっちゃな星の会・
くず葉学園・松下園・いんくるネット・
秦野ワークセンター・みんなの広場・ゆめ散歩
- (2) 「イオンの日」展示即売会 実施日 毎月11日 ※4月、5月（中止）
[出店事業所] 秦野精華園・弘済学園・ちっちゃな星の会・
くず葉学園・松下園・いんくるネット・
秦野ワークセンター・みんなの広場・ゆめ散歩
- (3) 秦野市中央運動公園プール内自販機販売 実施日 8月1日～9月6日
自動販売機のみにて対応
- (4) 「イオン秦野店周年祭」展示即売会 実施日：11月11日出店：9事業所
- (5) ぱれっと祭り（中止）
- (6) さかえちょう公園イルミネーションフェスティバル
（天空の星のみ点灯）12月4日～20日
- (7) ポイントカード 年間使用枚数 74枚（3,700円相当）

3 自販機管理事業

[実施事業所]

- うぐいすの家 : 秦野市総合体育館 (2 台)
- かがやき : 秦野市おおね公園 (2 台)
- 当法人 : 公民館 (西、渋沢) (2 台)・ ぱれっと (2 台)
秦野市役所 (3 台)・さかえちょう公園施設 (1)

4 さかえちょう公園・ゆめ散歩における各種イベント

7月6日～7日 七夕まつり 飾り付け参加事業所 12 事業所

- かがやき・秦野精華園・くず葉学園・松下園・やまぼと学園・
- うぐいすの家・秦野ワークセンター・あすなる会・ハッピーラボ・
- ちっちゃな星の会・ひまわり・みんなの広場

5 ともしびショップ ゆめ散歩内就労

- (1) 関係事業所より …1名 (知的)
- (2) 養護学校アセスメント (新型コロナウイルス感染予防のため中止)
- (3) 一般アセスメント …2名 (精神) 1名 (身体)
- (4) 直Bアセスメント …1名 (精神)

6 就労実績

- ・クリエイティブギン (清掃) …1名 (知的)
- ・コミュニティーケア北部 (清掃) …1名 (知的)

7 啓発活動 (ぱれっとプロジェクト)

- ・上映会 [毎月第4土曜日開催 平均して3名の参加者]
- ・美術館 [館内に利用者の絵画、写真、書、工作物を展示]
- ・ミニチラシ [ミニサイズのチラシを作成し、「イオンの日」等に配布]

8 その他活動

- (1) 東日本大震災支援活動 (3月11日) イオン販売
宮城県女川町の障害者就労支援施設「きらら 女川」製造のあげ饅頭
及び「南三陸町産 生わかめ」等の販売

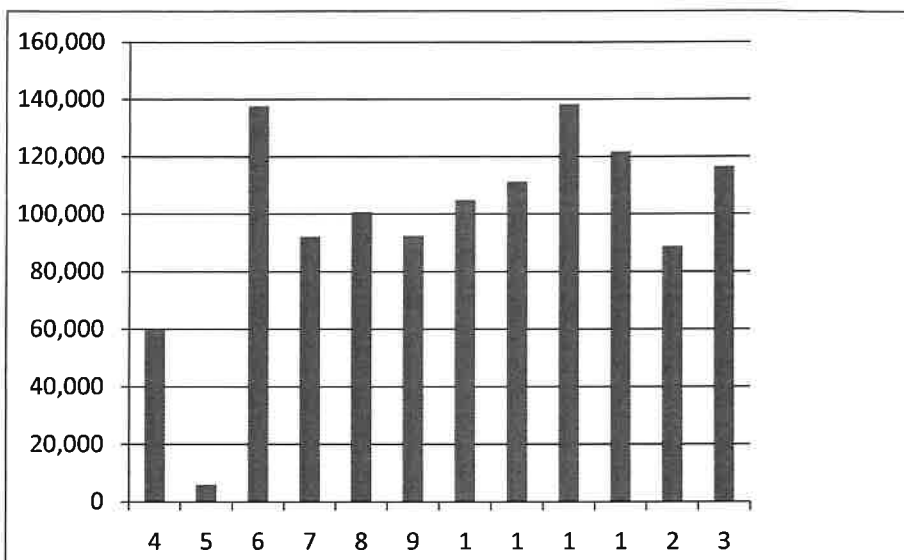
9 会議等

- 令和2年4月～令和3年3月 1回/2週間 スタッフ会議兼ケース会議
- 令和2年5月22日 福祉事業所合同説明会 (中止)
- 令和3年2月13日 事業所職員研修会 (秦野市保健福祉センター)

令和2年度ゆめ散歩売上状況

月別売り上げ
(単位：円)

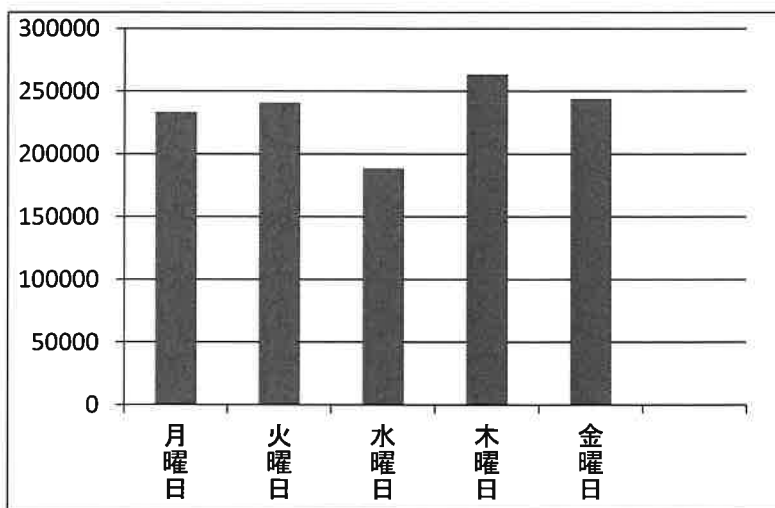
4月	60,270
5月	6,080
6月	137,630
7月	92,190
8月	100,805
9月	92,500
10月	104,985
11月	111,360
12月	138,365
1月	121,770
2月	88,760
3月	116,610
計	1,171,325



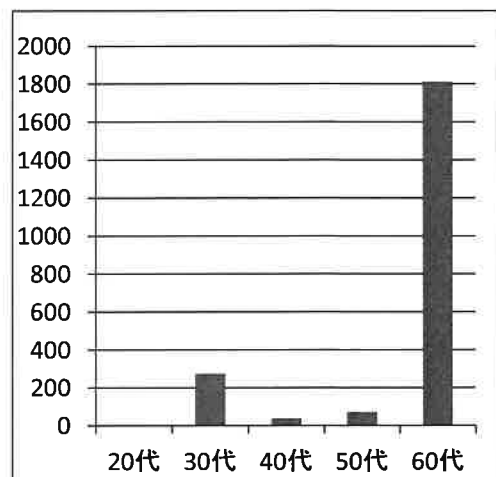
月別商品売上順位

月	1位	2位	3位	4位	5位
4月	布雑貨	野菜	焼き菓子	豆腐	パン
5月	パン	焼き菓子	布雑貨	加工食品	名刺
6月	野菜	パン	豆腐	布雑貨	焼き菓子
7月	野菜	豆腐	パン	焼き菓子	布雑貨
8月	野菜	パン	豆腐	布雑貨	焼き菓子
9月	野菜	焼き菓子	パン	豆腐	布雑貨
10月	野菜	焼き菓子	パン	手芸品	布雑貨
11月	野菜	焼き菓子	パン	布雑貨	豆腐
12月	野菜	焼き菓子	布雑貨	パン	加工食品
1月	野菜	焼き菓子	パン	豆腐	秦野の水
2月	野菜	焼き菓子	パン	豆腐	加工食品
3月	野菜	焼き菓子	パン	布雑貨	豆腐

曜日別売上表



年代別来客数



< 一般会計 >

		当初予算 (A)	補正予算 (B)	決算額 (C)	差額 (C-B)	摘 要
① 総務						
収 入	繰り越し金	7,726,169	7,726,169	7,726,169	0	
	市運営費補助	13,874,000	15,824,000	15,824,000	0	
	会費	568,000	568,000	568,000	0	正会員18・賛助会員8
	NPO法人負担金	600,000	600,000	600,000	0	事務取扱経費
	雑入	800,000	1,167,241	1,090,567	△ 76,674	区分認定調査を含む
	事務的経費分担金(就労)	990,000	2,600,675	2,911,180	310,505	
	事務的経費分担金(相談)	1,000,000	3,389,414	3,740,098	350,684	
	事務的経費分担金(地活)	306,000	0	0	0	
合計		25,864,169	31,875,499	32,460,014	584,515	
支 出	事務用消耗品購入費	1,000,000	952,731	903,224	△ 49,507	除菌用品等 ※
	車両維持管理経費	600,000	328,525	369,755	41,230	燃料費、保険料等 ※
	建物等維持管理費	7,000,000	7,202,130	6,637,360	△ 564,770	保守・光熱水費・感染予防対策含む
	借入金返済(建設事業借入)	2,000,000	1,939,140	1,930,911	△ 8,229	利息430,911、元金150万 ※
	報酬費	6,900,000	6,900,000	6,900,000	0	
	理事等活動経費	780,000	780,000	780,000	0	
	理事会経費	100,000	55,000	27,272	△ 27,728	3回開催(うち2回は書面)
	研修会経費	500,000	80,000	163,839	83,839	1日研修に変更 ※
	労務・会計管理費	850,000	826,835	703,749	△ 123,086	※
	NPO法人業務協力金	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	相談他業務への協力金 ※
	販売受託へ繰り出し	1,500,000	962,341	1,329,452	367,111	
	地域活動へ繰り出し	0	2,685,746	2,950,815	265,069	
予備費	2,634,169	7,163,051	0	△ 7,163,051		
合計		25,864,169	31,875,499	24,696,377	△ 7,179,122	
収支差額		0	0	7,763,637	7,763,637	

※印…事務的経費対象分

		当初予算 (A)	補正予算 (B)	決算額 (C)	差額 (C-B)	摘 要
② 販売・受託（共同受注等）						
収入	ゆめ散歩売上	2,000,000	1,362,645	1,292,872	△ 69,773	休業により売上減
	事業収入(共同受注・自販機)	5,000,000	5,960,189	6,051,005	90,816	Xmas・高齢ホラ・東名草刈舎
	にじ散歩売上	5,500,000	5,911,075	6,348,675	437,600	
	公園管理受託	238,000	275,000	275,000	0	さかえちよう公園
	総務より繰り入れ	1,500,000	962,341	1,329,452	367,111	
合計		14,238,000	14,471,250	15,297,004	825,754	
支出	ゆめ散歩仕入	1,700,000	989,468	1,073,048	83,580	
	ゆめ散歩利用者賃金	600,000	189,659	182,544	△ 7,115	
	支援員 2名分	4,100,000	4,165,472	4,127,507	△ 37,965	ゆめ散歩・にじ散歩各1名
	共同受注・自販機管理	4,200,000	4,731,799	4,761,173	29,374	
	自販機電気料	400,000	331,687	317,225	△ 14,462	
	にじ散歩仕入	2,900,000	3,634,542	4,060,800	426,258	
	ゆめ散歩・にじ散歩雑支出	338,000	428,623	774,707	346,084	店舗維持運営経費
合計		14,238,000	14,471,250	15,297,004	825,754	
収支差額		0	0	0	0	

		当初予算 (A)	補正予算 (B)	決算額 (C)	差額 (C-B)	摘 要
③ 就労支援						
収入	市就労等支援事業委託	15,404,000	15,404,000	15,404,000	0	
	就労支援事業雑収入	3,000	3,000	394,000	391,000	社協より農福連携協力金他
合計		15,407,000	15,407,000	15,798,000	391,000	
支出	就労支援員 4名分	8,717,000	8,859,045	8,897,397	38,352	
	総務事務職員 1名分	1,500,000	1,448,770	1,454,405	5,635	
	ま木就労支援員等助成	2,700,000	2,370,000	2,370,000	0	
	印刷製本費	500,000	0	0	0	事業所紹介パンフ計上分
	就労支援事業諸費	300,000	103,400	139,908	36,508	研修旅費等を含む
	普及啓発費	700,000	25,110	25,110	0	イルミネーション休止
	事務的経費分担金	990,000	2,600,675	2,911,180	310,505	
合計		15,407,000	15,407,000	15,798,000	391,000	
収支差額		0	0	0		

		当初予算 (A)	補正予算 (B)	決算額 (C)	差額 (C-B)	摘 要
④ 相談支援						
収入	市相談支援委託料	24,296,000	24,296,000	24,296,000	0	
	相談自主事業収入他	2,585,000	2,022,651	2,234,872	212,221	計画相談、指定寄付を含む
合計		26,881,000	26,318,651	26,530,872	212,221	
支出	相談員 4名分	18,841,000	18,024,936	17,968,257	△ 56,679	
	総務経理 2名分	5,000,000	4,442,543	4,481,082	38,539	
	相談事業諸費	1,500,000	227,678	137,935	△ 89,743	緊急時対応・研修等を含む
	パソコン備品等	540,000	234,080	203,500	△ 30,580	ソフト・メンテナンスを含む
	事務的経費分担金	1,000,000	3,389,414	3,740,098	350,684	
合計		26,881,000	26,318,651	26,530,872	212,221	
収支差額		0	0	0	0	

		当初予算 (A)	補正予算 (B)	決算額 (C)	差額 (C-B)	摘 要
⑤ 地域活動						
収入	市地活運営委託	11,502,000	11,502,000	11,502,000	0	基本事業分
	地域活動収入	400,000	205,000	216,300	11,300	利用者一部負担、ピア活動加算等
	総務より繰り入れ	0	2,685,746	2,950,815	265,069	
合計		11,902,000	14,392,746	14,669,115	276,369	
支出	地域活動担当委嘱経費3名	7,836,000	9,864,408	9,965,067	100,659	常勤1名追加
	地域交流事業人件費	3,360,000	4,234,951	4,429,790	194,839	地域交流臨時職員分
	地域活動雑費	400,000	293,387	274,258	△ 19,129	ピア活動費含む
	事務的経費分担金	306,000	0	0	0	
合計		11,902,000	14,392,746	14,669,115	276,369	
収支差額		0	0	0	0	

※参考

令和2年度予算 令和2年度補正 令和2年度決算

一般会計総収入(特別会計を除く)	94,292,169	102,465,146	104,755,005
一般会計総支出(同上)	94,292,169	102,465,146	96,991,368
差額	0	0	7,763,637

< 特別会計 >

※基金の動き

⑥ 地域生活支援基金	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末見込
増 減	△ 5,000,000	4,000,000	1,504,068	595	132
累 計	1,500,000	5,500,000	7,004,068	7,004,663	7,004,795

令和3年3月31日

上記のとおり報告します

理事長 藤 村 和 静 

事務局長 越 光 森 茂 

令和2年度会計監査結果報告書

一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構

令和2年度収支決算について、証拠書類と貸借対照表など諸帳簿について監査したところ、正しく処理されており、すべて適正であった事を証明します。

令和3年5月12日

監事 宮本 英子 